

- 問1 国会で予算や法律が決まったあと、内閣がそれを使って政治を進めることには、どのような理由や目的があるといえるでしょうか。
- 問2 自衛隊は、どのような目的のためにつくられた組織ですか。
- 問3 憲法の前文と第9条で、戦争をしないことや戦力をもたないことを定めた、日本国憲法の3つの原則の1つは何ですか。
- 問4 日本国憲法では、国の政治を決める力は誰にあると決められていますか。
- 問5 選挙で、有権者（ゆうけんしゃ）のうち実際に投票した人の割合のことを何といいますか。
- 問6 国の政治で、法律をつくる「国会」、法律に基づいて政治を行う「内閣」、法律に基づいて裁判を行う「裁判所」の三つに分ける仕組みを何といいますか。
- 問7 核兵器を「もたない、つぐらない、もちこませない」という、日本の基本方針を何といいますか。
- 問8 裁判員制度において、裁判員に選ばれて裁判に関わるのはどのような人たちですか。
- 問9 国の平和と安全を守るための機関としてつくられた組織は何ですか。
- 問10 天皇が国事行為を行うとき、だれの助言と承認が必要ですか。
- 問11 1946年11月3日に発表（公布）され、1947年5月3日に効力が発生（施行）した、日本の基本となる憲法は何ですか。
- 問12 人が生まれながらにしてもっている、人間らしく生きる権利を保障する、日本国憲法の3つの原則の1つを何といいますか。
- 問13 日本の基本となる憲法である「日本国憲法」が、実際に効力をもつようになった（施行された）日はいつですか。
- 問14 衆議院に「解散」という仕組みがあるのは、どうしてですか。
- 問15 日本国憲法において、天皇は国や国民のままとりの何であると定められていますか。
- 問16 国会で話し合って決められた法律や予算をもとにして、実際に国の政治を進めていくための機関を何といいますか。
- 問17 なぜ、国会・内閣・裁判所の三つに権力を分けて、お互いに監視し合う仕組み（三権分立）が必要なのでしょう。
- 問18 日本国憲法で定められた、国民が守るべき3つの義務のことを何といいますか。
- 問19 国務大臣の仕事として、内閣総理大臣と一緒に参加して国の重要な方針を決めるための会議を何といいますか。
- 問20 近年、日本の選挙の投票率は低下傾向にあります。このまま投票率が下がると、どのような問題が心配されますか。
- 問21 国際連合で採択された、すべての子どもの人権を保障するための条約で、日本も承認しているものを何といいますか。

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 国会が決めたルールをもとに、実際に社会の仕組みを動かすため	国会はみんなの代表が集まって「どんなルールにするか」を話し合う場ですが、実際にそのルールを使って道路を作ったり、教育を整えたりする仕事には、専門的な活動を行う「行政機関」が必要だからです。国会と内閣は、役割を分担して協力することで、国の政治を安定させています。
問2	答え 国の平和と安全を守るため	自衛隊は、国の平和と安全を守るための機関としてつくられた組織です。
問3	答え 平和主義	戦争をしないこと、戦争のための戦力をもたないことを定めた原則を「平和主義」といいます。
問4	答え 国民	日本国憲法の大きな柱の一つである「国民主権」は、国をどうするかを決める最終的な権利が国民にあるという考え方です。日本が民主的な社会であるための最も大切な原則です。
問5	答え 投票率	投票率は、選挙に行ける権利を持つ人たちが、実際にどれくらいの割合で投票所へ足を運んだかを示す数字です。この数字が高いほど、多くの人が政治に関心を持っていることとなります。
問6	答え 三権分立	国の政治の役割を三つに分けることで、一つの機関に力が集中することを防ぎ、お互いに監視し合えるようにする大切な仕組みのことです。
問7	答え 非核三原則	核兵器を「もたない、つぐらない、もちこませない」という日本の基本方針を非核三原則といっています。
問8	答え 一般の国民	裁判員制度は、専門家だけでなく、一般の国民が裁判員に選ばれて裁判に関わる制度です。
問9	答え 自衛隊	国の平和と安全を守るための機関としてつくられた組織を「自衛隊」といいます。
問10	答え 内閣	天皇が国事行為を行うには、内閣の助言と承認が必要であると憲法に定められています。
問11	答え 日本国憲法	1946年11月3日に公布され、1947年5月3日に施行された、日本の基本となる憲法は日本国憲法です。
問12	答え 基本的人権の尊重	人が生まれながらにしてもっている、人間らしく生きる権利を保障することを基本的人権の尊重といっています。
問13	答え 1947年5月3日	日本国憲法は、1946年11月3日に公布（発表）され、翌年の1947年5月3日に施行（スタート）されました。
問14	答え 国民の新しい意見を政治に反映させるため	政治に対して国民がどのように考えているかを確かめるため、任期の途中で衆議院を解散し、総選挙を行うことで、国民の声を新しい政治に届ける機会を作っています。解散は、国会が今の方針でよいのかを国民に問いかける大切な役割を持っています。
問15	答え 象徴	日本国憲法では、天皇は国や国民のまとまりの「象徴」と定められています。
問16	答え 内閣	内閣は、国会が作った法律や予算をもとにして、実際に政治の仕組みを動かす「行政機関」です。国会は法律を作る場所であり、内閣はその法律を使って具体的な仕事を進める役割を担っています。
問17	答え 一つの機関に権力が集まると、独裁や乱用のおそれがあるから	もし一つの機関だけがすべての強い権力を持っていたら、その権力が正しく使われない可能性が出てきます。三権分立によってバランスを保つことで、国民の権利を守る民主的な政治が行われています。
問18	答え 国民の義務	日本国憲法で定められた、国民が守るべき3つの義務を「国民の義務」といいます。
問19	答え 閣議	国務大臣は、内閣総理大臣がひらく「閣議」に出席します。ここでは国のこれからの進め方や、法律を作るための話し合いなど、政治の重要な事柄が話し合われます。
問20	答え 国民主権が十分に機能しなくなる	国民主権とは、国民が国の政治のあり方を決める権利のことです。投票率が下がると、一部の意見だけが政治に反映されやすくなり、国民全体の意志を政治に届けることが難しくなってしまうため、民主主義の大切なルールが弱まってしまうリスクがあります。
問21	答え 子どもの権利条約	すべての子どもの人権を保障するために国際連合で採択され、日本も承認している条約を「子どもの権利条約」といいます。